

第19回化学物質と環境円卓会議
「地域連携に基づく
環境教育の推進」
～市民・事業者・行政・学校連携の広がり～

崎田裕子

ジャーナリスト・環境カウンセラー
NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長
NPO法人新宿環境活動ネット代表理事

はじめに

一人ひとりの主体的参加の重要性
～環境教育への期待の高まり～

- 公害から「環境汚染の被害者であり、加害者」
- 広く地球環境を思い、足元からの実践を
- 90年代、自らのライフスタイル、仕事の見直しへ
- 一人ひとりできる事から、くらしと仕事に責任を

- 1993年 環境基本法
- 1994年 環境基本計画
「循環・共生・参加・国際的取組み」
「規制」から「自主的な取組み」の喚起へ

求められる「つながり」への「気づき」
「理解」を深め
「問題解決能力」を育み
「実践行動」へ

- 大気・水・土・・・私たちは循環の環の中で、つながって生きている
- 私たち人間は、他の生物と共生している
- 地球上の様々な資源を利用している
- 将来の世代とつながっている...

パートナーシップ社会へ
自らのくらしと地域への責任の共有

市民・市民団体
環境活動団体

連携の担い手として

地域事業者・企業

地域の環境NPOなど

学校・教育機関

行政機関

地域事例

「NPO法人新宿環境活動ネッ

連携・協働で環境活動推進

- 1999年、地域の環境ネットワークとして誕生
- 立場や分野を超えて、顔の見える信頼を育む
- 「環境都市・新宿」創造に向け
市民・事業者・行政・学校350人登録
- 地域と学校の連携で協働PJを推進
「新宿の環境学習応援団」「まちの先生見本市」
- 企業の連携も誕生「エコ事業者連絡会」PJ
- 2003年にNPO法人化(東京都認証)

地域と学校の連携による 体験学習の推進

2001年年度から、公立学校を会場に、毎年実施
「新宿の環境学習応援団・まちの先生見本市」

- ・まちの先生(住民・事業者・NPO・行政)と
学校の先生・青少年団体の指導者との
顔の見える交流と学びあいの場
- ・例年、5～60団体参加、来場者2000人程度
- ・2007年2月3日(土)新宿区立東戸山小学校
地域と学校の協働事例発表
参加団体の公開授業・体感・体験プログラム実施
環境学習プログラムづくり相談

地域と学校の連携による 体験学習の推進



「まちの先生見本市」で交流
地域・事業者・NPO・学校・行政

地域と学校の協働事例発表
公開授業・体感・体験
環境学習プログラム相談

住民・NPO・事業者・学校・行政の 顔の見える信頼を育む場に



期待される足元からの実践 市民参画型環境学習センター運営で 快適環境のくらしとまちづくり

- 2004年「新宿区立環境学習情報センター」開設
住民・企業の活力を生かし「環境まちづくり」拠点に
- NPO法人新宿環境活動ネットが指定管理者に
愛称「エコギャラリー新宿」
- 学びで終わらせず、
くらしや地域の環境改善にどう定着させるかが課題
- 市民参画型運営で、地域住民・企業に環を広げる





**エコギャラリー新宿
情報交流講座例**

授業相談・小中学校への出前授業

- 総合学習長期プログラムづくりや短期プログラムづくりを支援し、「新宿の環境学習応援団登録資料集」から、事業者や環境NPO、住民団体等を紹介
- 五感を活かし、地域を知る、多様なプログラムを実施




エコギャラリー新宿
情報交流講座例

エコビジネスCSRセミナー 「環境報告書を読む会」

企業の環境への取り組みを市民が理解するために、
また、企業の環境担当者同士の学び合いのために、
環境報告書を使って環境コミュニケーションを推進。



エコギャラリー新宿
情報交流講座例

エコライフ実践講座

- 地球温暖化防止」「循環型社会作り」「自然再生」をテーマに、身近な学び、具体的な体験を通して参加者の「エコライフ」の実践を応援
- 区民環境グループ・地元企業・事業所等が指導役



エコギャラリー新宿
情報交流講座例

こどもエコクラブ

- 小中学生を対象に、環境について感じ、考え、自ら行動する、体験型環境学習・活動クラブ。(こどもエコクラブ登録)
新宿中央公園を中心に、生き物飼育観察、自然、3R等、子どもたちの興味、関心に沿って活動
- 区内の環境カウンセラーや自然観察グループが支援



エコギャラリー新宿
情報交流講座例

「みどりを活かす暮らしの知恵・まちの知恵」

- ヒートアイランドや地球温暖化に負けずに、都市の中でも快適に暮らしたい！
そんな気持ちを日々の暮らしに活かすために
- 新宿御苑・小学校・区の担当課・専門家等と連携



エコギャラリー新宿
情報交流講座例

エコツアーで都市と農山村交流

- 自然豊かな近隣地域を訪れ、環境の大切さや暮らしの見直しを学ぶツアー。貴重な自然体験や、地元住民との温かい交流を図る
- 地域に事務所を構えるエコツアー企業が企画参加

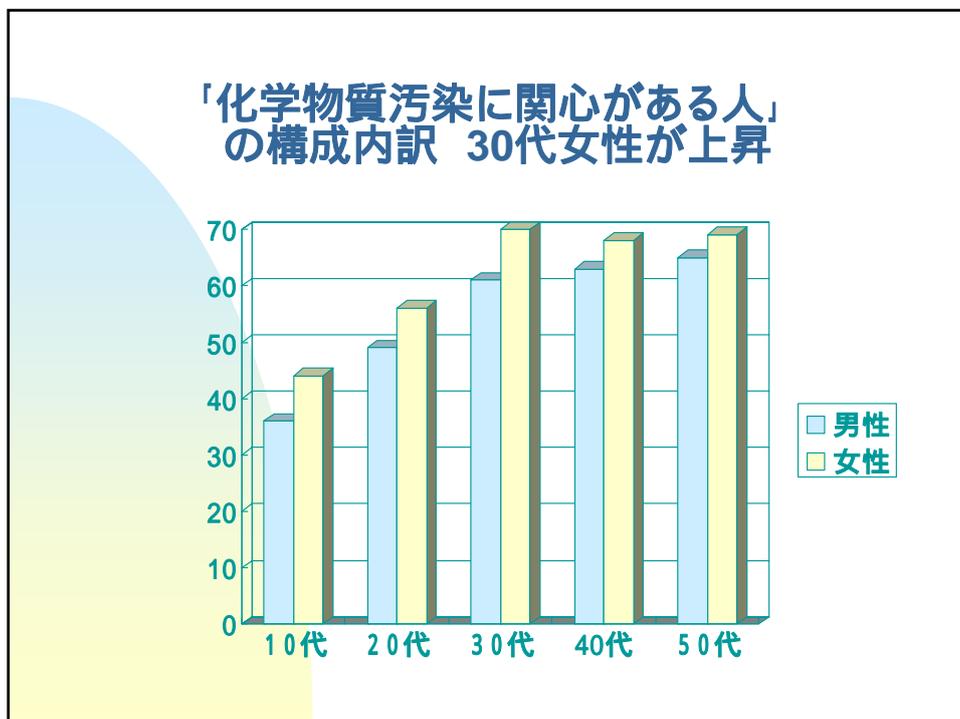
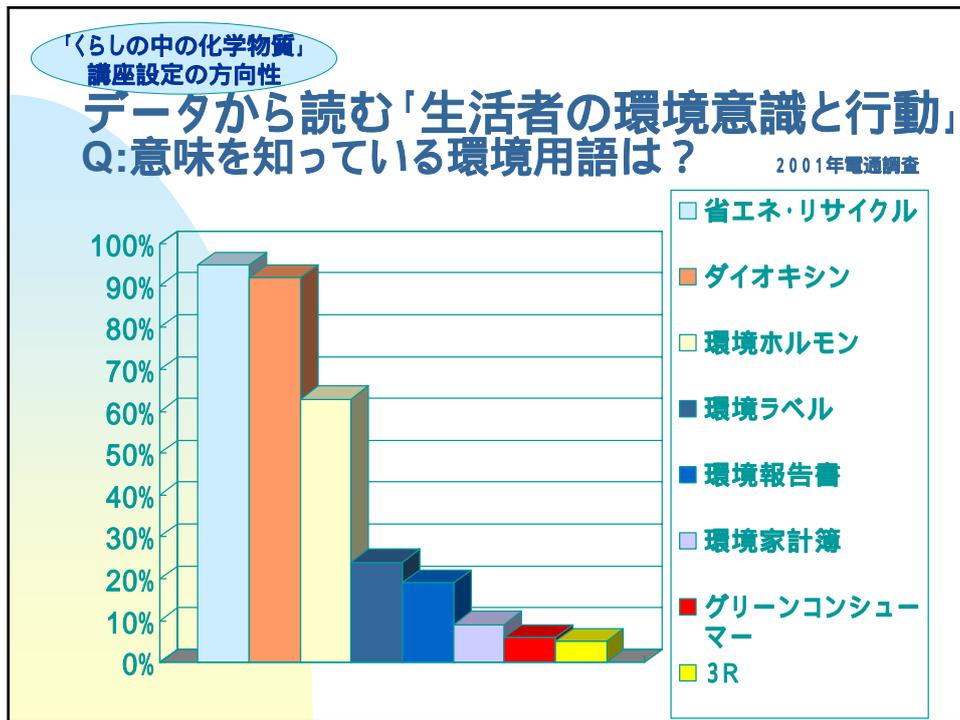


エコギャラリー新宿
情報交流講座例

エコリーダー・環境学習専門家養成講座

- 地球環境と共に、地域の環境状況を知り、環境課題解決に向けて環境活動、環境学習のリーダーを育成
- 10回連続講座の1回に化学物質アドバイザーを依頼。「くらしの中の化学物質」とどう付き合うか、話し合う

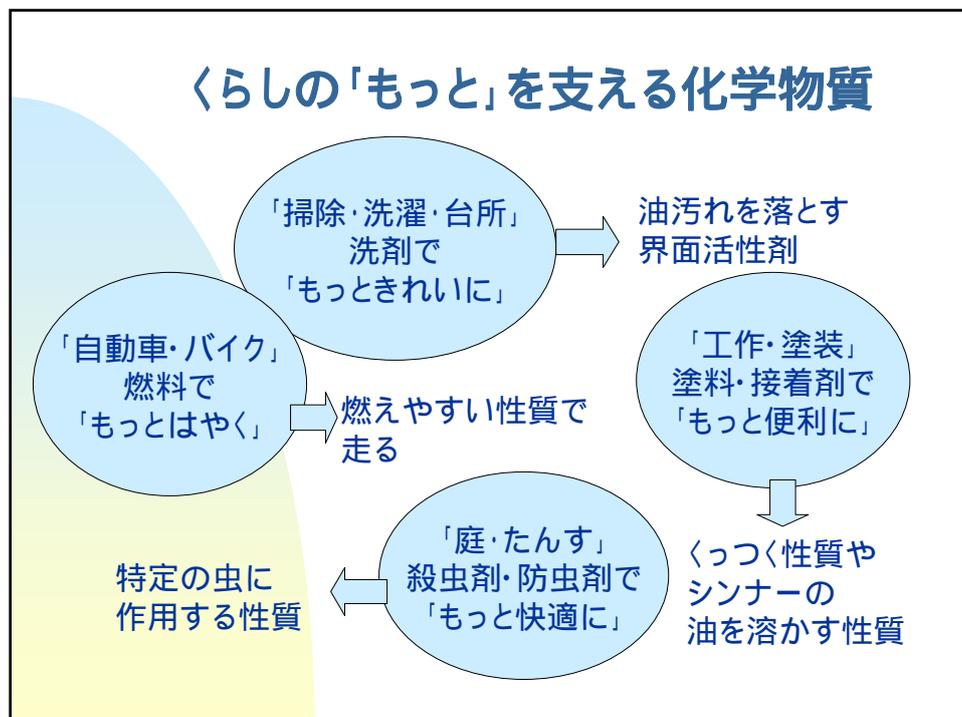


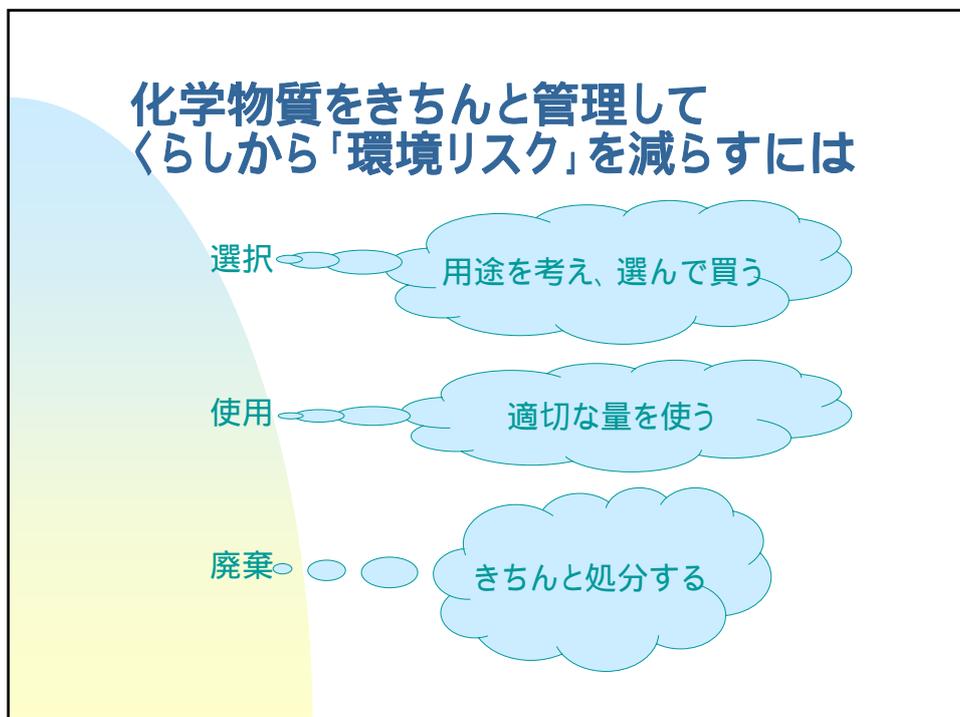
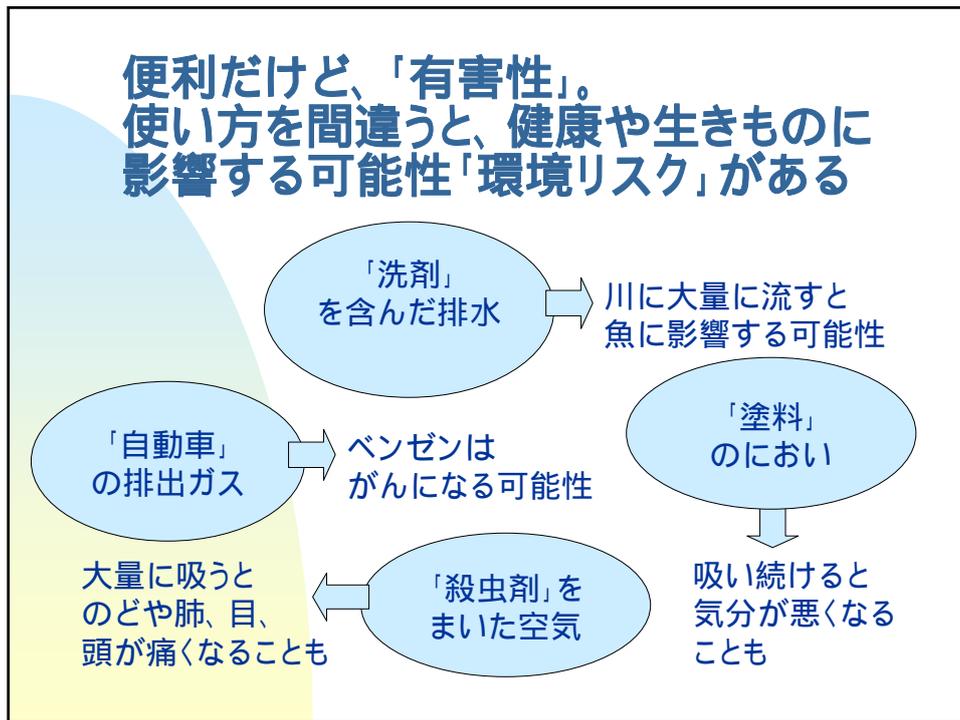


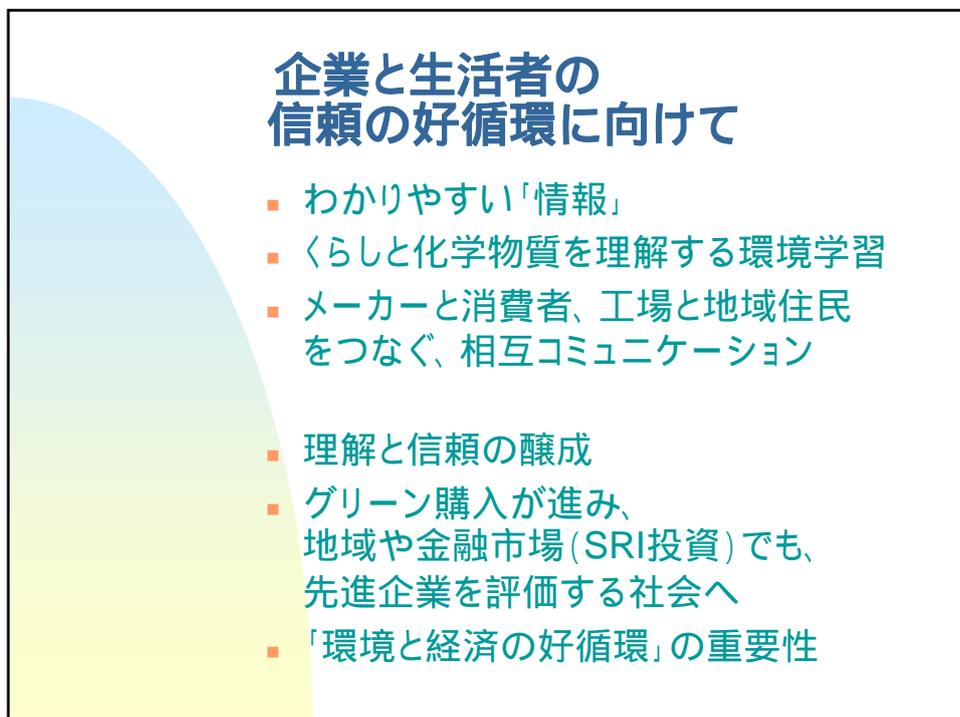
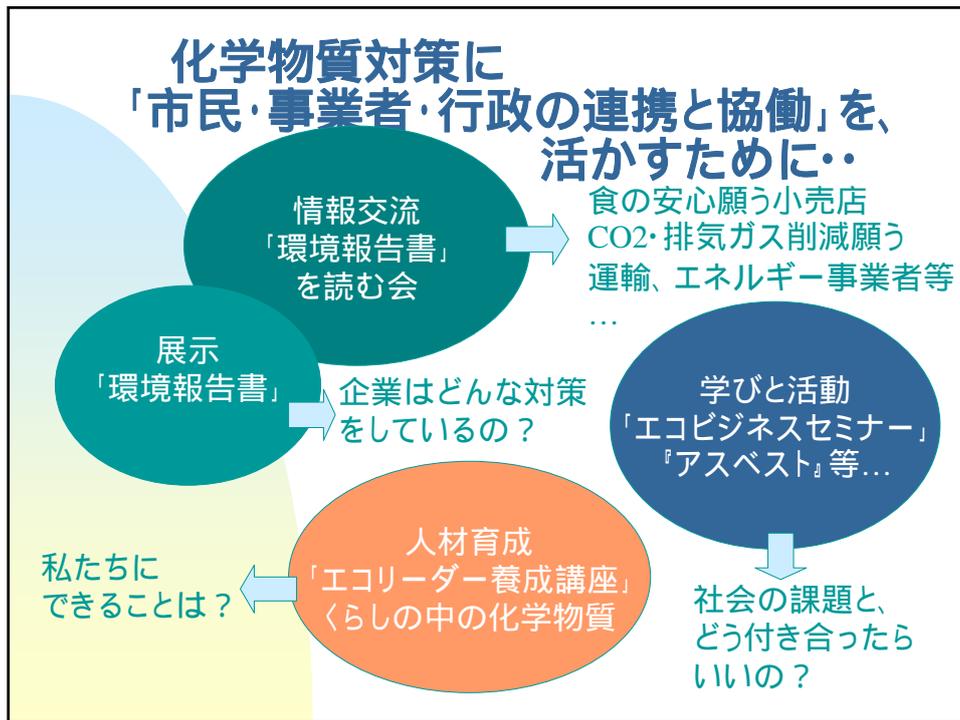
化学物質と生活者をめぐる パートナーシップの課題

- 化学物質等環境課題への関心の高まり
30代女性の関心の高さ・家族の健康
企業等の環境対策への、理解不足
- 生活者は「不安感」が増大
- 暮らしの中でどう付き合うか
自らの役割への認識も不足
- まず、理解を深めることから

くらしの「もっと」を支える化学物質







化学物質をめぐる わかりやすい情報とは

- 化学物質情報
企業・行政・第三者機関の情報公開
- 製品情報
「GHS」国連2008年勧告
「環境ラベル」
「商品テスト情報」
- 企業情報
「環境報告書・環境レポート」
会社四季報環境版のような情報

環境と経済の好循環する 活力あるパートナーシップ社会へ

- 市民・事業者・行政の連携と協働
- わかりやすい環境配慮製品・企業情報と、
消費者・事業者のコミュニケーション
- 環境教育・環境学習の推進

- 市民参加による自主性の喚起で
消費選択・実践行動へつなぐ
- 企業と生活者の信頼をつなぐNPOの役割
- 連携を地域・社会で具体化

地域環境活動学び合いの広がり 全国事例「市民がつくる環境のまち」元気大賞

■ 主催：NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット

次の世代に伝える視点は 地域コミュニティー発展に欠かせない

- 全国各地の元気な地域活動の特徴
 - 主体性 (各主体が自主的に参加、参画する)
 - 独自性 (地域の課題解決・地域資源の活用)
 - 連携・協働 (企業・大学・NPO・自治体)
 - 伝える視点 (環境教育・環境学習)
 - 継続性 (3R・資源循環・エネルギー・自然等)
 - まちづくり (まちおこしへ、活動の環の広がり)
 - 経済性 (コミュニティービジネスの視点)
- 多様な情報と市民のつなぎ手人材・NPOの育成が鍵

「人づくり・地域づくり」から
持続可能な国づくりへの一歩が始まる



地域住民・NPO・事業者・行政・学校
の連携で、
足元から実現する持続可能な未来